

GibbsCAM 12

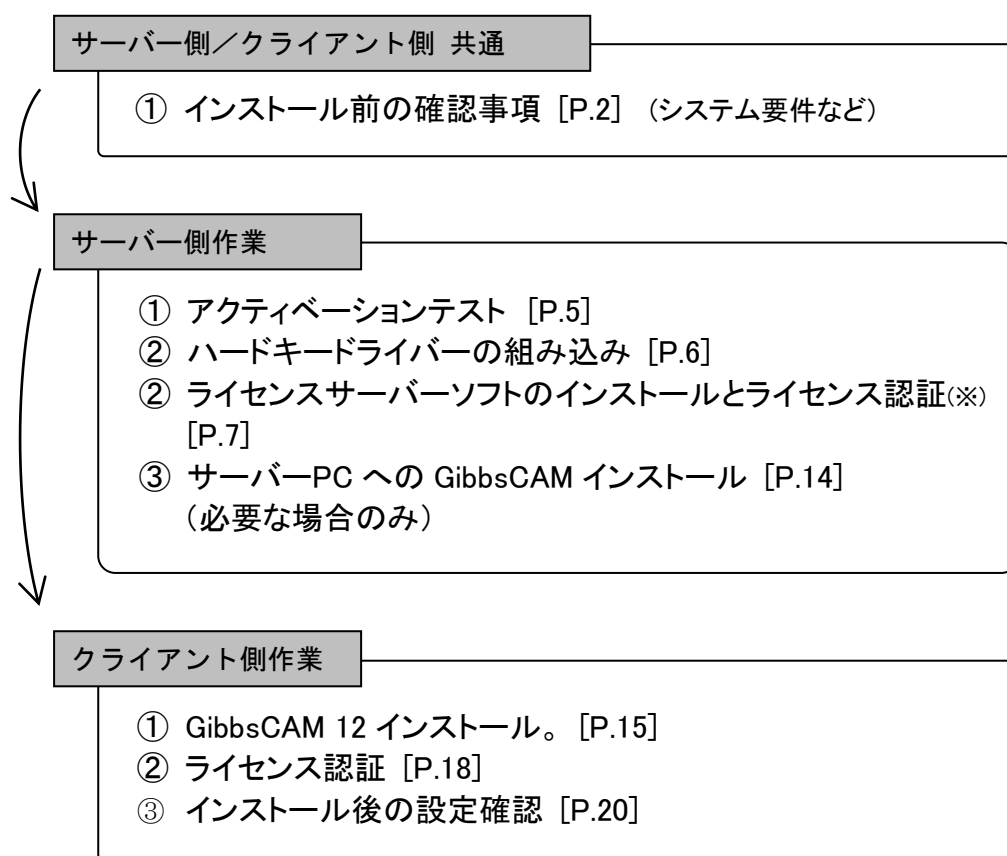
インストール手順書 [ダウンロード版]

(ネットワークライセンス 新規インストール用)

株式会社 松浦機械製作所
営業本部 生産支援システム

インストールの流れ (目次)

この手順書はネットワークライセンスの「**新規インストール用**」です。
インストール作業にはサーバーPC 側とクライアントPC 側の2種類があります。

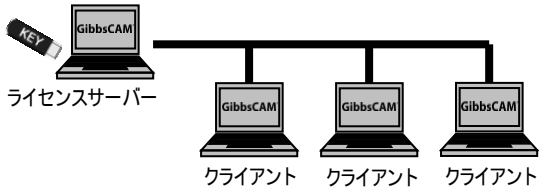


※インターネット接続・・・インターネットを介したライセンス認証のために PC がインターネットに接続されている必要があります。
インターネットへの接続が必要なのはライセンス認証作業時の1回のみです。次回以降の GibbsCAM 起動時は、ライセンス認証作業は不要です。インターネットへの接続も不要です。インターネット接続ができない場合は電子メールなどの方法による手続きが必要なためライセンス認証完了までに数日間を要します。

インストール前の確認事項

はじめに以下の点をご確認下さい。

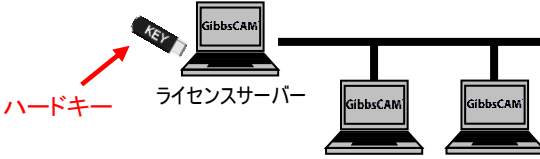
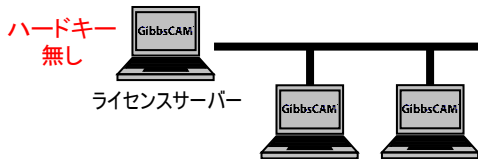
- Windows のビットタイプとバージョンを確認してください。
 - ・ 64 ビット専用 (32 ビット Windows は使用できません)
 - ・ 対象 OS: Windows Vista、Windows 7、Windows 8/8.1、Windows 10、Server 2008、Server 2008 R2、Server 2012、Server 2012 R2
- ライセンス方式をご確認下さい。

スタンドアロンライセンス この手順書はネットワークライセンス用です。 スタンドアロン用の手順書をご覧ください。	PC1 台につき1個のハードキーを取り付けて使用する方式 
ネットワークライセンス	ネットワークで接続された複数の PC でライセンスを共有して使用する方式  (ネットワークライセンスにはサーバー PC にキーを取り付けないタイプもあります。)

- インストールの種類をご確認ください。

インストールの種類	内容
バージョンアップインストール この手順書は新規インストール用です。バージョンアップインストール用手順書をご覧ください。	V10.5/V10.7/V11.3 が稼働している PC に GibbsCAM 12 をインストールする場合。
新規インストール この手順書が対象にしている種類です。	PC に GibbsCAM ソフトを初めてインストールする時。

4. サーバータイプをご確認下さい。

ハードキータイプ	サーバーPC にハードキーを取り付ける方式 
ネットワークIDタイプ	サーバーPC のネットワークインターフェースのID番号(MAC アドレス)を使用する方式 

5. プロダクトコード(P-CODE)の所在を確認して下さい。
 新規購入品の場合はUSB ハードキーを封入している袋に P-CODE を印刷したシールが貼られています。
 バージョンアップリリースの場合はインストールキットの中に所有台数分のプロダクトコードが印刷された用紙が同梱されています。

6. Windows の機能の確認

GibbsCAM 12 では Windows に以下の2つの機能がインストールされている必要があります。

- ・ Microsoft .NET Framework 3.5 SP1
- ・ Microsoft .NET Framework 4.5.2 以上

GibbsCAM 12 のインストール途中で.NET Framework のインストールを求められた場合は、別紙資料「Microsoft .NET Framework について」をご覧頂き、各.NET Framework のインストールを行なってください。

例外事項

サーバーPC をライセンスサーバー専用(その PC 上では GibbsCAM ソフトを起動しない)とする場合、サーバータイプがネットワークID タイプ ID タイプに限り.NET Framework の組み込みは不要です。

ハードキータイプの場合は.NET Framework 3.5 SP1 と 4.5.2 以上の両方が必要です。

7. インストールフォルダと管理フォルダの確認

GibbsCAM 12 のインストールフォルダと各種管理フォルダの場所は下記の通りです。

ポスト、マシンシミュレーション、切削材質データベース、カスタムマクロ等のファイルは 3D Systems フォルダの中に置いてください。

ライセンスサーバーソフト

インストールフォルダ: C:\Program Files (x86)\3D Systems\NLO Registration Tool

GibbsCAM ソフト

インストールフォルダ: C:\Program Files\3D Systems\GibbsCAM

管理フォルダ(全体): C:\ProgramData\3D Systems\GibbsCAM

管理フォルダ(ユーザ): C:\Users\%ユーザ名%\AppData\Roaming\3D Systems\GibbsCAM

アクティベーションテスト

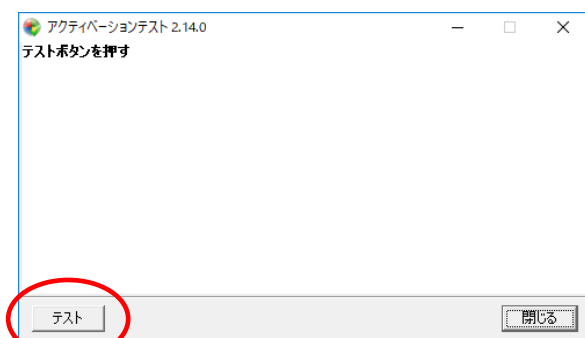
(1) インターネット接続の確認

ライセンス認証作業ではインターネットに接続して行う方法と、インターネットに接続しないで行う方法の2通りがあります。

インターネット接続あり … 即時ライセンス認証が完了し、すぐにGibbsCAM が使用可能になります。

インターネット接続なし … マツウラへ電子メールまたは記録媒体によるライセンス認証情報(GLC ファイル)の送付が必要です。マツウラからライセンスファイルをご提供するのに数日かかるため、すぐにはGibbsCAM をご使用いただけません。

ここではインターネット接続によるライセンス認証作業が可能かどうかを確認します。インターネットからダウンロードした「ActivationCheck.exe」をダブルクリックして起動しテストを実行してください。



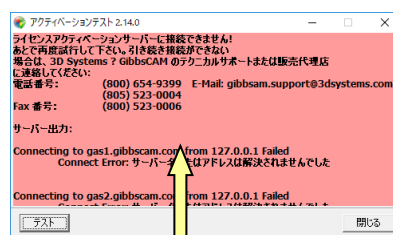
「テスト」ボタンをクリックして、インターネット接続テストを開始します。

インターネット接続によるライセンス認証が可能な場合の結果画面



緑色画面

インターネット接続によるライセンス認証が不可能な場合の結果画面



赤色画面

この後のライセンス認証作業はこの結果内容によって作業手順が異なります。この結果内容を覚えておいて下さい。確認ができたなら「閉じる」をクリックしてアクティベーションテストの画面を閉じます。

ハードキードライバーの組み込み

この作業はサーバータイプが「ハードキータイプ」の時のみ行ないます。(P.3 参照)

- (1) ハードキーをサーバーPC 本体の USB ポートに取り付けて下さい。



- (2) USB フラッシュメモリを PC にセットして中を開き、フォルダ「Content」→「Predator」→「Drivers」→「Sentinel System Driver」の中の「Sentinel Protection Installer 7.6.6.msi」をダブルクリックして実行します。

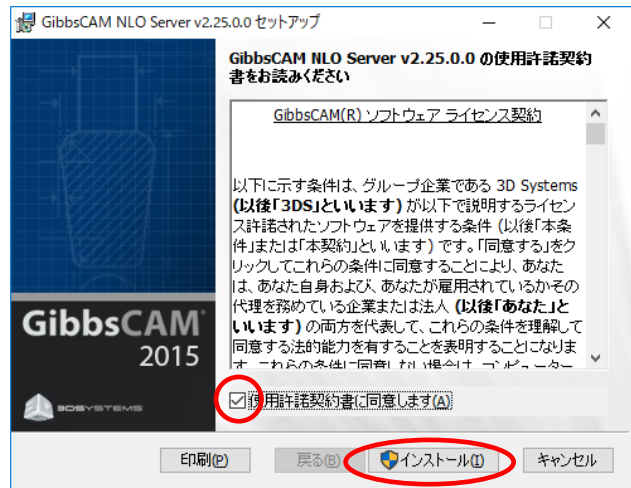
InstallShield Wizard画面が出たら、以下の通りに進めて行きます。

画面	操作
Welcome to the InstallShield Wizard for Sentinel Protection Installer 7.6.6	Next > をクリック
License Agreement	I accept the terms in the license agreementを選択して Next > をクリック
Setup Type	Completeを選択してNext > をクリック
Ready to Install the Program	Install をクリック
Windows Firewall detected!	Yes をクリック
InstallShield Wizard Completed	Finish をクリック

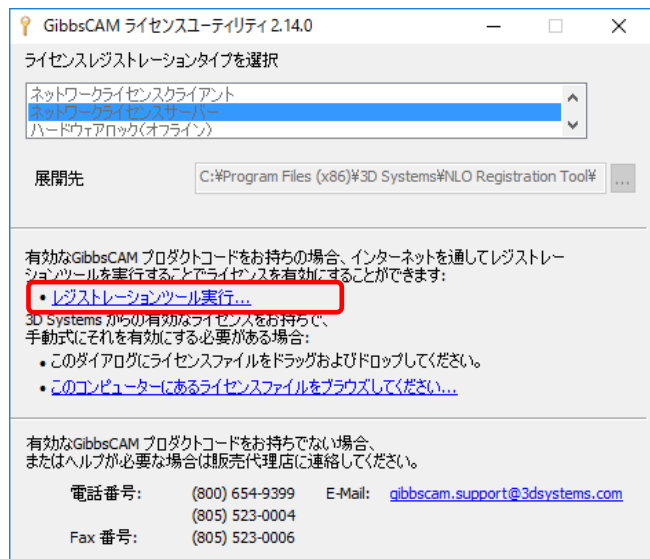
以上でハードキードライバーの組み込みは完了です。

ライセンスサーバーソフトのインストールとライセンス認証

- (3) インターネットからダウンロードした
「 [GibbsCAM NLO Server v2.25.0.0 - ja-JP.msi](#) 」
をダブルクリックして実行します。
- (4) 使用許諾契約書：「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れ「インストール」をクリックします。



- (5) ライセンスレジストレーションタイプを選択：
「レジストレーションツール実行」をクリックします。



(6) プロダクトコードを入力:

用意しておいたプロダクトコード(20 文字)を入力して「次へ」をクリックします。

GibbsCAM サーバライセンスレジストレーションツール

プロダクトコードを入力
コードには以下のフォーマットがあるはずです: XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

A1B1 C3D4 E5F6 G7H8 0001

コードは有効であると思われます。

キー情報
ハードウェアキー: はい ネットワーク: はい アップグレード: いいえ 期限付き: いいえ
顧客タイプ: 商業用

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

入力したプロダクトコードの有効性が表示されます。

(7) レジストレーション情報入力:

名前、メールアドレス、会社名、電話番号を入力して「次へ」をクリックします。
もし電子メールのアドレスをお持ちでない場合は下図に書かれたアドレスを入力下さい。(sess@matsuura.co.jp)

GibbsCAM サーバライセンスレジストレーションツール

レジストレーション情報入力
ライセンスレジストレーションを正確に記録するために連絡情報を入力してください。

入力例

名前: MATSUURA
E-Mail: sess@matsuura.co.jp
会社: Matsuura machinery corporation
電話: 0776 56 8107

私に情報を送信してください:
☒ 製品の更新とお知らせ
☒ ニュースレターやプロモーション情報

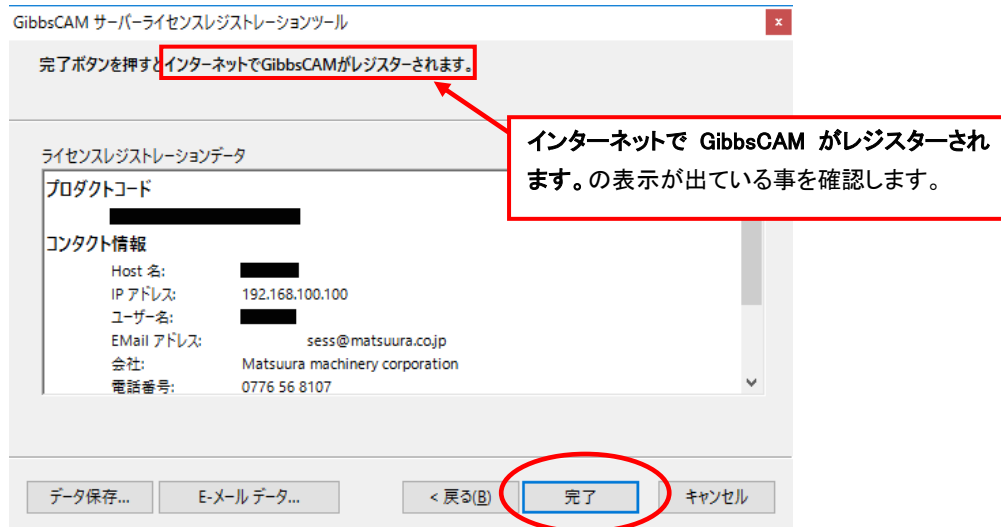
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

チェックを入れると入力した E-Mail アドレス宛にニュース等の情報(英語)が配信されるようになります。
不要な場合はチェックを外してください。

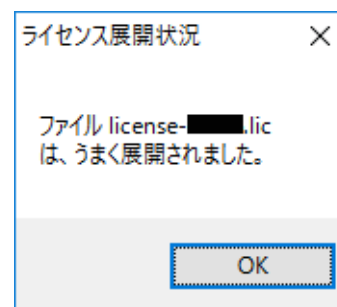
インターネット認証が可能な場合

アクティベーションテスト(P.5)の結果が「可能」の場合は(8)の作業を行ってください。

(8) 入力情報の確認とインターネット認証の開始: 「完了」をクリックします。



ライセンス認証が成功し、ライセンスファイルが登録されると右図のようなメッセージが表示されます。



「OK」をクリックしてメッセージを閉じると更にインストールが続き、暫くするとセットアップが完了します。

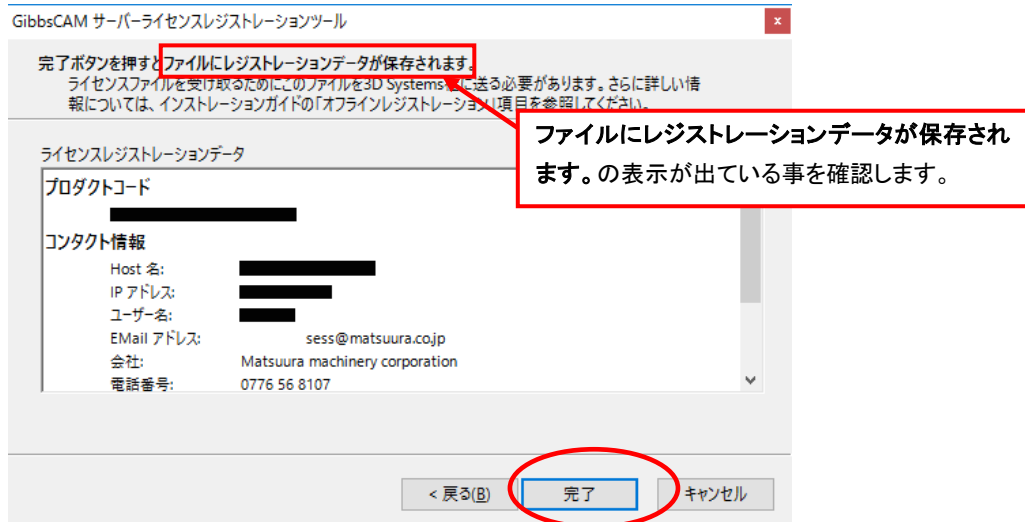


次は P.13 の (16)ライセンスファイルのバックアップへ

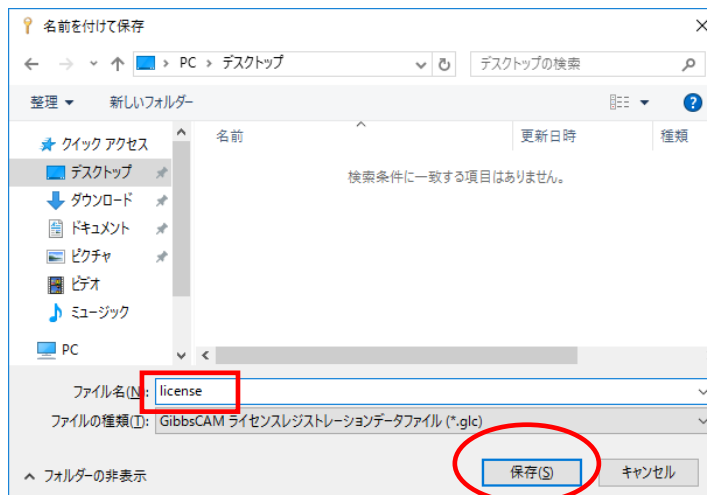
インターネット認証が不可能な場合

アクティベーションテスト(P.5)の結果が「不可能」の場合は(9)～(14)の作業を行ってください。

(9) 入力情報の確認とインターネット認証の開始：「完了」をクリックします。



(10) 認証情報ファイルの保存： 保存場所を指示して「保存」をクリックします。



ファイル名は
「license.glc」で
保存してください。

ハードキーが複数
有るときは
12345-license.glc
のようにキーの番号
を付加して区別がで
きるように名前を付
けてください。

(11) 認証情報ファイルの送信：

保存した認証情報ファイルを電子メールまたは記録媒体に入れ郵送等の方法で P.21 に記載の連絡先へお送り下さい。

ここで一旦インストール作業を中断します。画面はすべて閉じて下さい。
後日、ライセンスファイルが送付されるまでお待ち下さい。

(12) ライセンスファイル受信:

ライセンスファイルが電子メールまたは CD などの記録媒体でお客様へ送付されます。1 週間以上経過しても送られてこない場合は P.21 の連絡先へご連絡下さい。

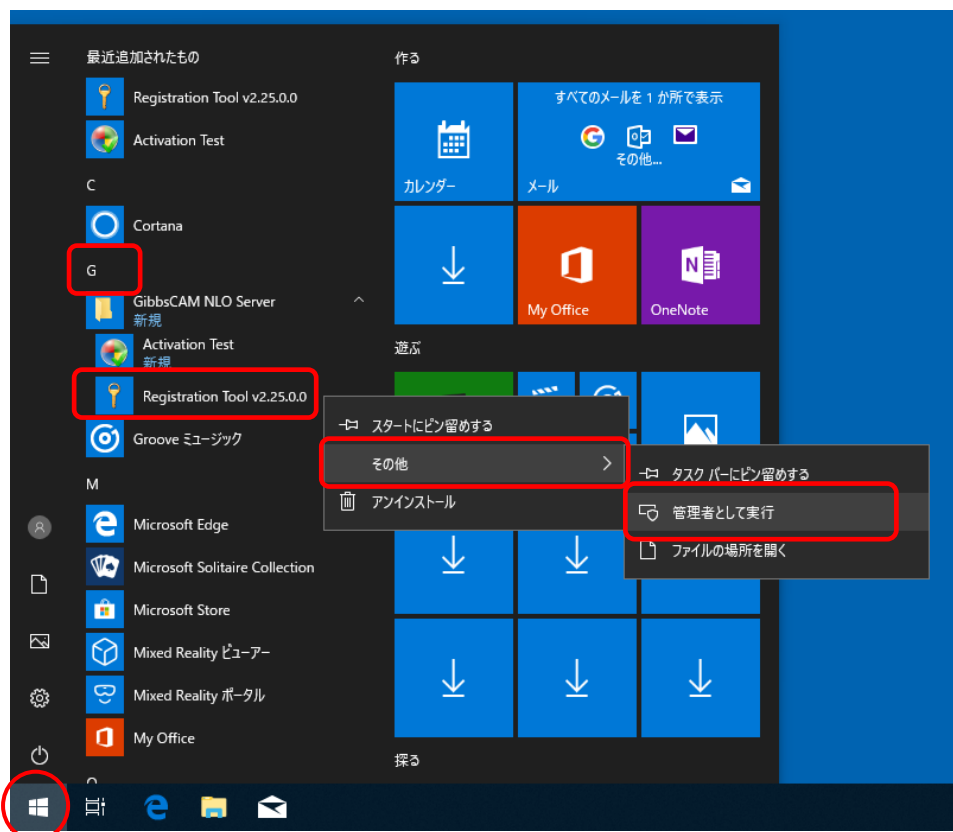
(13) レジストレーションツールを起動:

スタートメニューから「すべてのアプリ(※)」→「GibbsCAM NLO Server」を開き、「Registration Tool v2.25.0.0」の上でマウス右クリックしてコンテキストメニューから「管理者として実行」を選択して下さい。

(※) Windows バージョンによるメニュー表記の違い

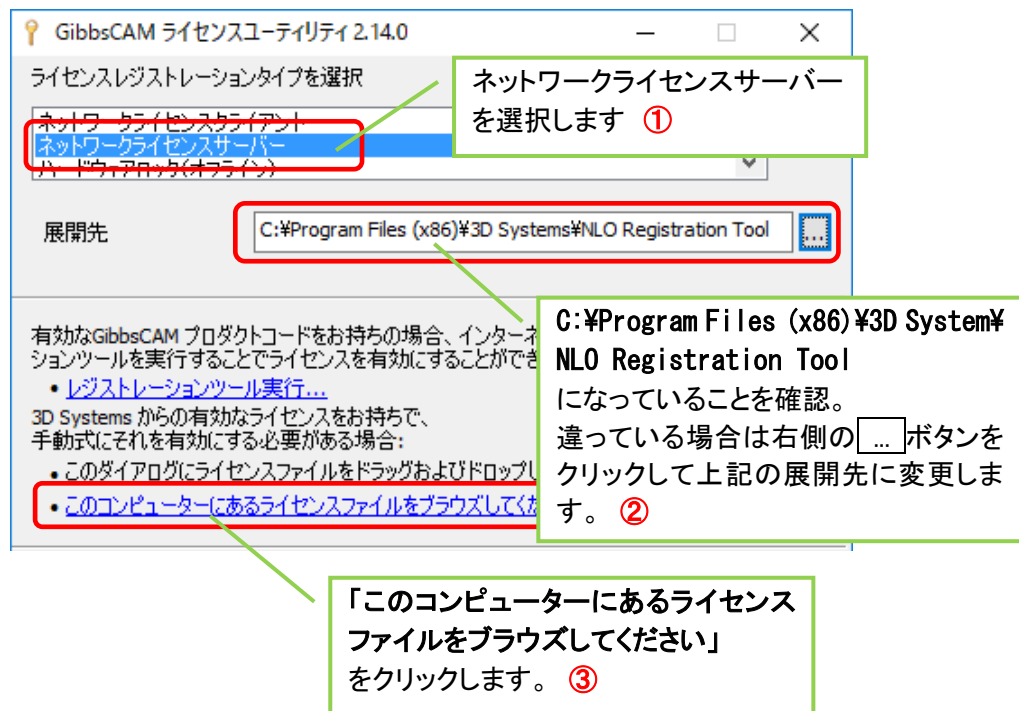
Windows Vista、Windows 7 Windows Server 2008/2008 R2	すべてのプログラム
Windows 8/8.1 Windows Server 2012/2012 R2	(スタート画面内) すべてのアプリ
Windows 10	G グループ

Windows 10 の画面表示例



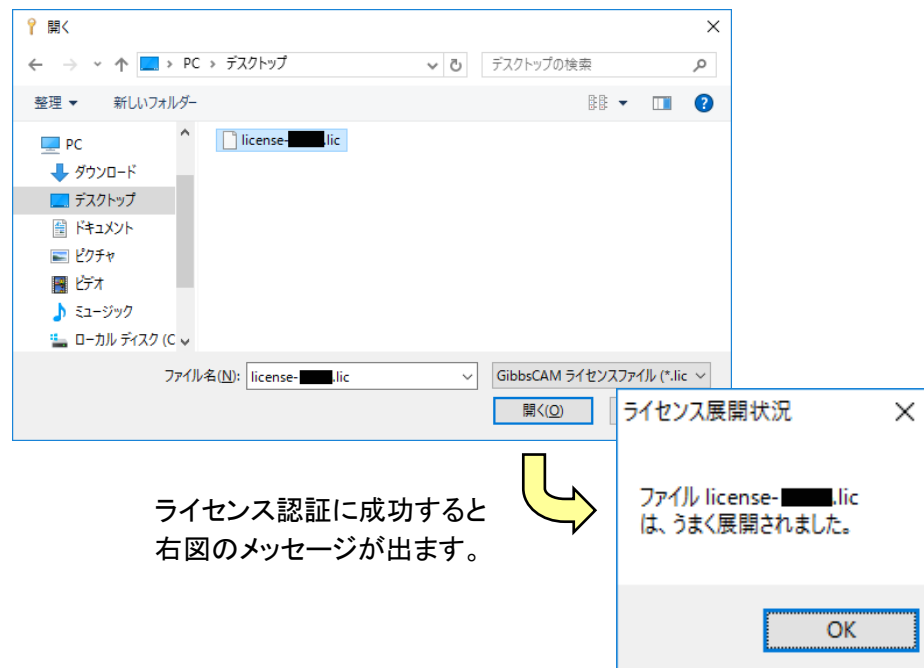
(14) ライセンスレジストレーションタイプを選択:

ネットワークライセンスサーバーを選択と展開先を下図の通りにします。
(赤色番号順に設定していきます。)



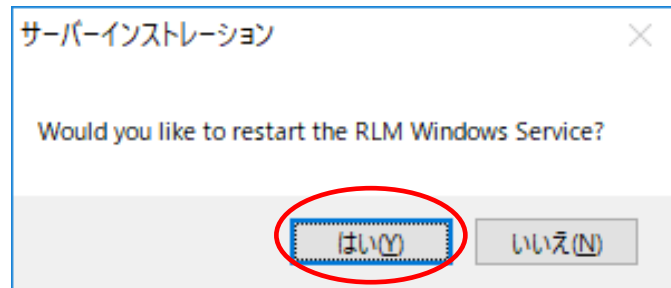
ファイル選択画面が出ます。

送付されたライセンスファイル(license-xxxxx.lic)を選択して「開く」をクリックします。



ライセンス認証に成功すると
右図のメッセージが出ます。

- (15) サーバーインストール(RLM サービスの再起動):
「はい」をクリックします。



以上でライセンスは認証は完了です。
画面には特に完了を知らせるメッセージの類は表示されませんのでそのまま次に進んでください。

- (16) ライセンスファイルのバックアップ:
展開されたライセンスファイルを取り出して保管しておきます。
ライセンスファイルは、フォルダ
C¥Program Files (x86)¥ 3D Systems¥NLO Registration Tool
の中に「license-〇〇〇〇〇.lic」の名前で出来上がっています。
このファイルを別のフォルダにコピーしたり、USB メモリにコピーするなどして
バックアップを取ってください。
このライセンスファイルはこの後のクライアント側の認証作業で使します。

※ このライセンスファイルはサーバーソフトや GibbsCAM の再インストール
の際に必要なになります。厳重に保管してください。
CD-R などの記録媒体に保存しておくことをお勧めします。

サーバーPC への GibbsCAM インストール

- (17) GibbsCAM のインストールの手順は後述のクライアント側作業と同じです。
P.15 (18)からの手順を参照して下さい。

サーバーPC はライセンス管理のみに使用し、サーバーPC 上で GibbsCAM を動かさない場合は、サーバーPC に GibbsCAM ソフトをインストールする必要はありません。

クライアント PC 側作業

GibbsCAM 12 インストール

(※) 本資料ではバージョン V12.0.30 を例にして説明していますが V12 シリーズはすべてのバージョンで同じ手順のインストールになっています。

これより先はクライアント側 PC インストール作業です。
クライアント PC の台数分、同じ作業を行います。

(18) インターネットからダウンロードしたインストーラーファイルを準備し、ダブルクリックして実行します。

- (産業版 : GibbsCAM_x64_v12.0.xx.0ja-JP.exe)
- (Classroom 版: GibbsCAM_x64_v12.0.xx.0ja-JP_Classroom.exe)

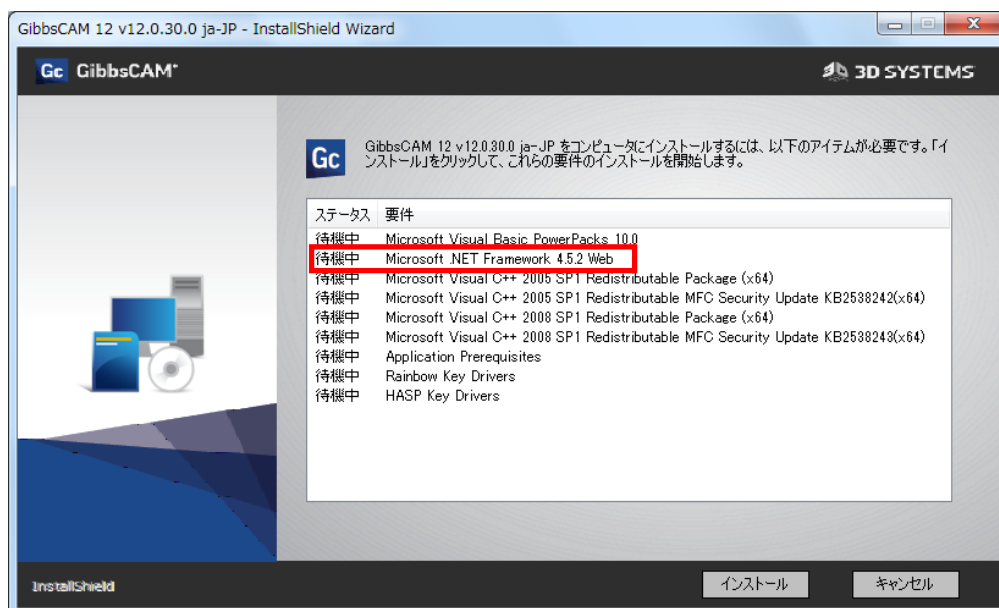
しばらくすると、GibbsCAM 12 セットアップが起動します。
(セットアップ画面が出るまでに数分かかる場合があります。)

Microsoft .NET Framework のインストールについて

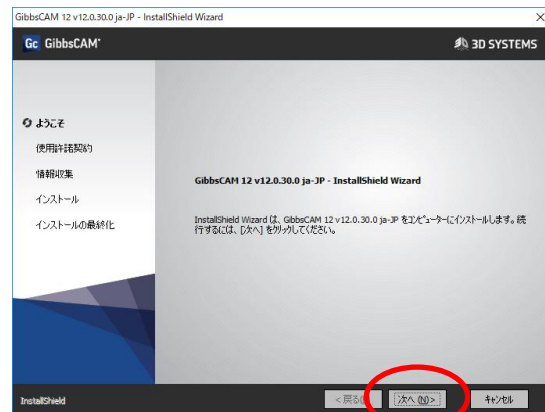
下図のように要件に.NET Framework が現われる場合は表示されたバージョン以上のものを PC にインストールしておく必要があります。

PC がインターネットに接続されている場合は GibbsCAM 12 のインストールの中で自動でダウンロードしてインストールをしてくれますのでそのままインストールを進めてください。

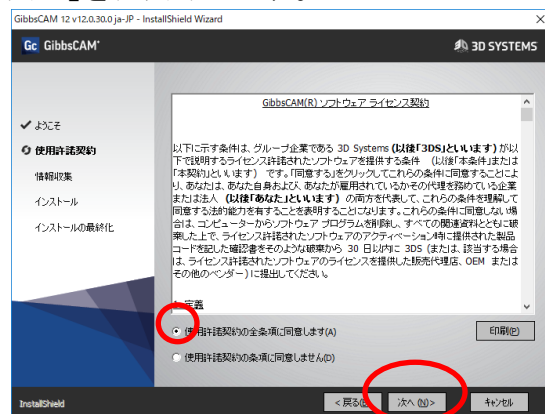
PC がインターネットに接続されていない場合は一旦 GibbsCAM 12 のインストールをキャンセルして、先に.NET Framework のインストールを済ませてください。その際には別冊資料「Microsoft .NET Framework について」を参考にしてください。



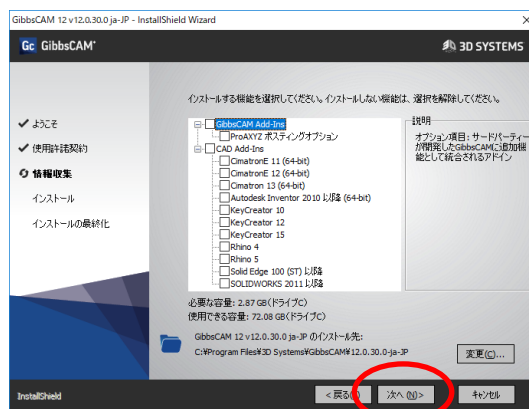
セットアップ画面が出たら「次へ」をクリックします。



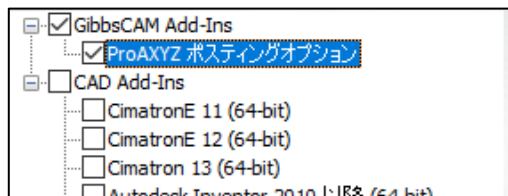
(19) 使用許諾契約書: 内容をご確認頂き、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。



(20) 情報収集: インストールしたいオプション機能を確認して「次へ」をクリックします。



ProXYZ ポスティングや CAD アドインなどのオプション機能を使用しない場合はそのまま「次へ」をクリックしてください。オプションをインストールする場合は目的のオプションにチェックを入れます。



GibbsCAM Add-Ins	ProXYZ ポスティングサポート	ProXYZ ポスト(*.ps2.64)を使用する場合にインストールします。
CAD Add-Ins		CAD と GibbsCAM を統合し、各 CAD から直接 GibbsCAM にデータを渡す機能です。 (CAD 側にアドインとして組み込まれます)

(21) インストール: 「インストール」をクリックします。



インストールが始まります。終了までしばらくお待ち下さい。

(22) インストールの最適化:

インストールが完了しました。「完了」をクリックしてセットアップウィザードを終了して下さい。

PC 内にある既存の GibbsCAM バージョンの環境設定を GibbsCAM12 に引き継ぎたい場合は「Migration Tool を今すぐ起動」にチェックを入れて「完了」をクリックしてください。(Migration Tool については次ページで説明)

PC に初めて GibbsCAM をインストールする場合や環境設定の引き継ぎが不要の場合はチェックを外してください。



インストールが正しく完了するとデスクトップ画面に GibbsCAM 12 のアイコンが出来上がります。



(23) 完了:

GibbsCAM 2016 のソフトウェアのインストールはこれで完了です。
続いてライセンス認証の作業を行います。

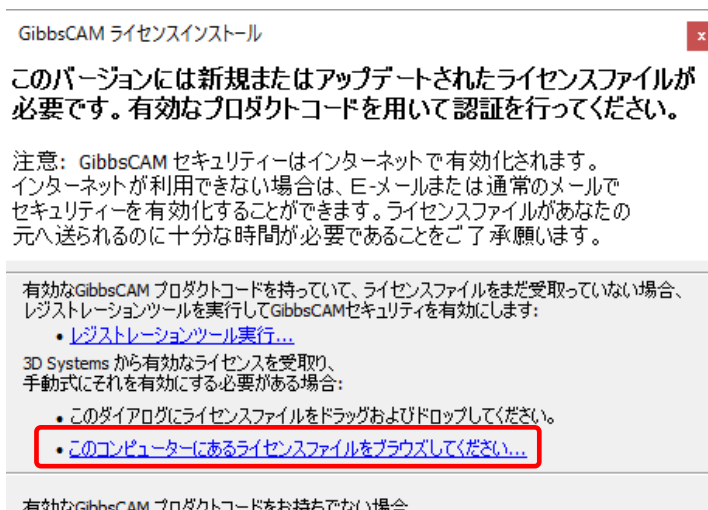
ライセンス認証

ここからの作業のために事前に P.13 (16) でバックアップしておいたライセンスファイル (license-xxxxxx.lic) を今作業しているクライアント側 PC 上に持ってきておいてください。USB メモリや CD などに入れている場合はそこから直接読み込ませる事もできます。

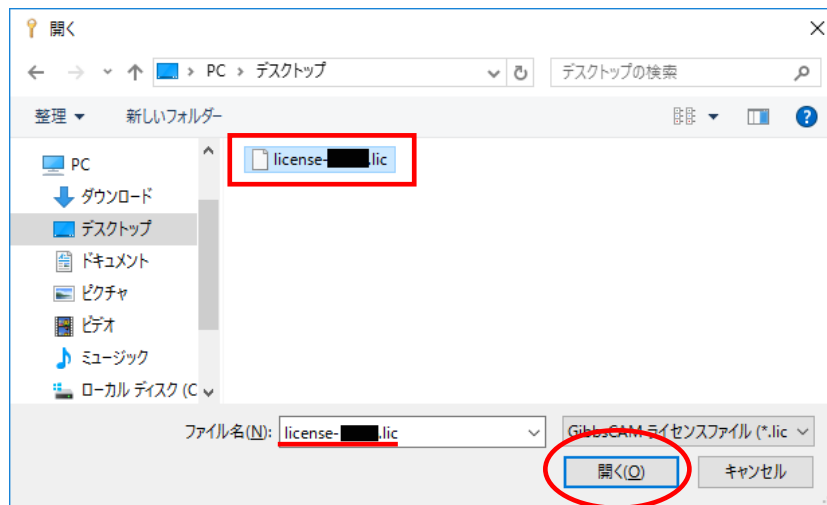
- (27) デスクトップ画面の GibbsCAM 12 アイコンをダブルクリックして GibbsCAM を起動します。



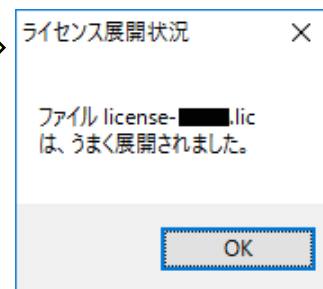
- (28) GibbsCAM ライセンスインストール が起動しますので、「このコンピューターにあるライセンスファイルをブラウズしてください...」をクリックします。



- (29) ファイル選択画面が出ます。
バックアップをしておいたライセンスファイルを選択して「開く」をクリックします。



ライセンス認証に成功すると
右図のメッセージが出ます。
OK をクリックすると GibbsCAM
が起動します。



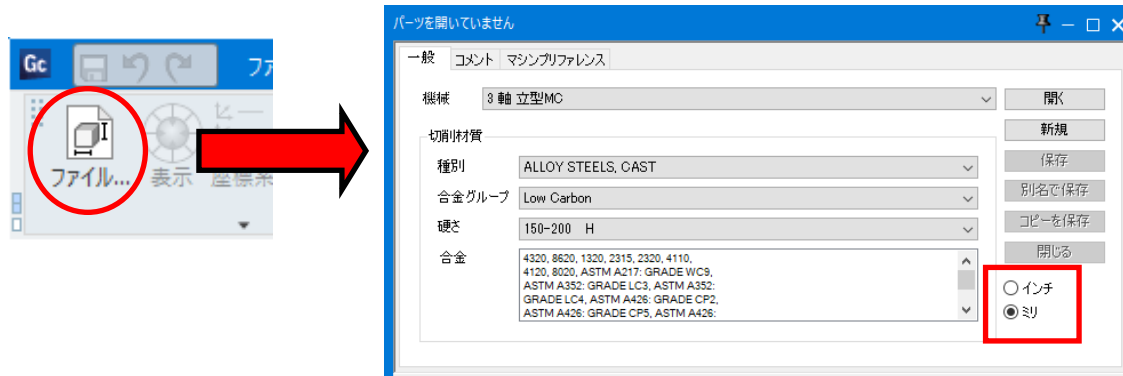
- (30) 以上でインストール作業は完了です。
次ページの「インストール後の設定確認」を行ってください。

インストール後の設定確認

GibbsCAM をインストール直後に以下の設定を確認してください。

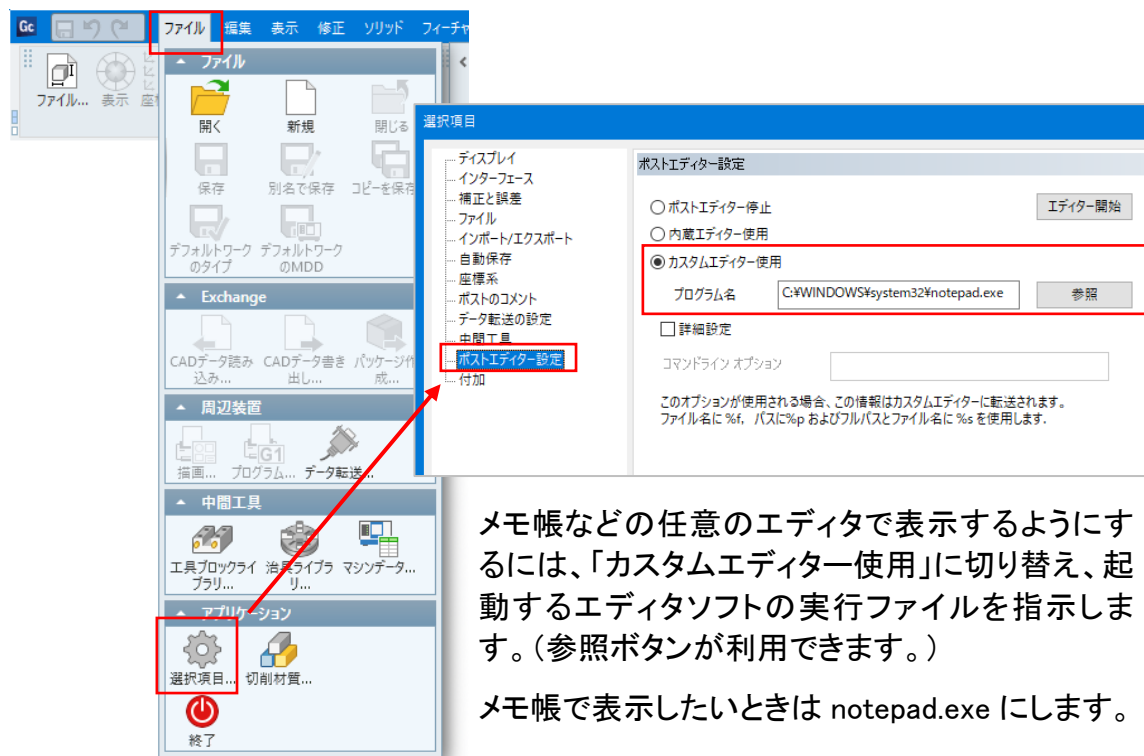
寸法単位の設定

インチ／ミリの設定を確認。



ポストエディタの設定

ポスト変換（プロセスボタンをクリック）をすると同時にメモ帳などでNCプログラムを開くようにしたい場合は、「ファイル」→「選択項目」→「ポストエディタ設定」を開いて設定を行なってください。



その他の設定

専用の機械設定(MDD)や切削材質データベースをご使用の場合は、GibbsCAM 12の管理フォルダ(P.4 参照)に関連ファイルのコピーを行ってください。

その他

GibbsCAM で何かご不明な点がございましたらマツウラにご連絡下さい。

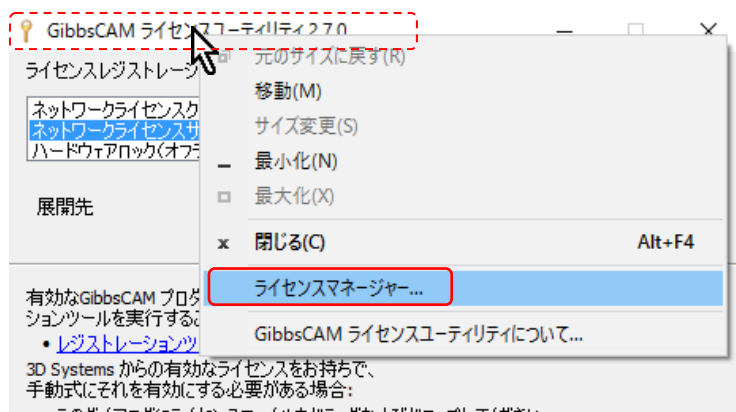
連絡先： 株式会社 松浦機械製作所
営業本部 生産支援システム
T E L： 0776-56-8107
F A X： 0776-56-8153
メール： sess@matsuura.co.jp

付録

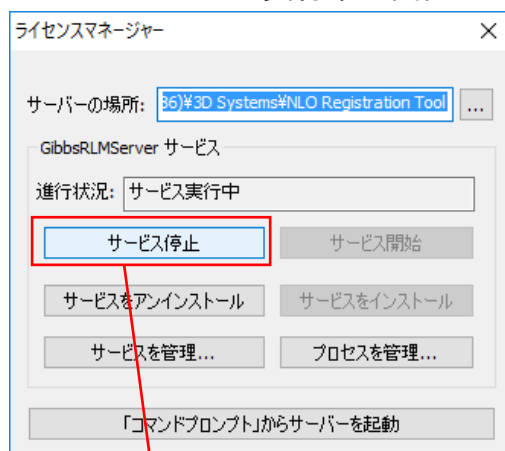
ライセンスマネージャー

ライセンスマネージャーはライセンスサーバーの動作を管理するツールです。

P.11 (13) の操作でレジストレーションツールを起動後、タイトルバーの位置でマウス右クリックするとライセンスマネージャーを起動するコンテキストメニューが開きます。

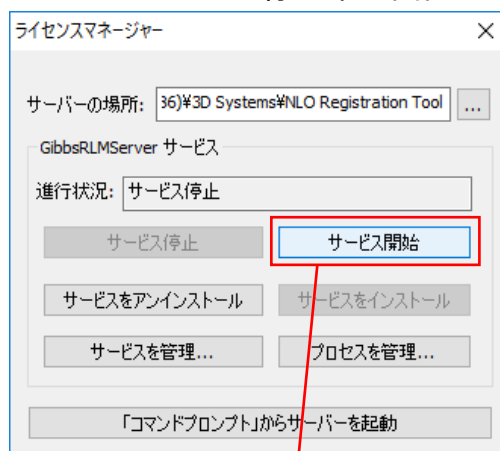


サーバーサービス実行中の画面



サーバーサービスを停止できます

サーバーサービス停止中の画面



サーバーサービスを開始できます